

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 画像解析・AI 技術を利用した子宮細胞診における診断基準の探求

### 研究の目的

近年、がんの早期発見と診断の精度向上を目的として、医療分野における画像解析技術や AI (人工知能) の活用が急速に進んでいます。特に、子宮頸部細胞診および子宮内膜細胞診においては、癌のスクリーニング検査として細胞診が特に重要な役割を担っております。

しかし、細胞診における客観的な診断基準の確立は容易ではなく、様々な精度管理事業や診断基準の検討がなされていますが、人の主観的判断が不可避であるためその確立には至っていません。そこで、人の形態学的判断に加え、近年発展している画像解析技術や AI 技術を併用することで、より客観的な子宮細胞診の判定基準の確立を目指します。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2030 年 12 月 31 日

対象となる方： 2013 年 1 月 1 日 ~ 2030 年 3 月 31 日までの間、弘前大学医学部附属病院産科婦人科を受診し、子宮細胞診(子宮頸部・頸管・膣部・内膜領域からの細胞診)が実施された方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち年齢、性別、既往歴・併存疾患、家族歴、腫瘍マーカーなどの検査所見、画像検査所見、内視鏡検査所見、病理学的診断、分子生物学的検査(遺伝子や MSI 検査)結果、治療やその経過などについて、標記研究のために利用します。

利用する試料・情報は全て通常診療の過程で得られるものであり、通常診療の進行に影響することはありません。顕微鏡下で病理標本(細胞診・組織診の標本)を観察し、細胞レベルの形態を診療(病理診断)後に観察します。それらの形態の特徴と、病理診断や分子生物学的検査の結果などとの関係性を統計学的手法で比較し、正確な診断につながる重要な形態の特徴の解明や、細胞診のより客観的な判定基準・より精度の高い判定法を探求したいと考えています。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを仮名化といいます)行います。形態の解析に AI 技術を利用する場合、外部へ情報が発信されない仕様であることを十分に確認します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	宮川 京大 (弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域) 〒036-8564 青森県弘前市本町 66-1    Tel : 0172-39-5972 E-Mail : miyakawa@hirosaki-u.ac.jp
-------	---